

令和6年度第1回庄原市情報教育研修会

- 日時：令和6年5月21日（火） 13：45～16：35
- 場所：庄原市立庄原中学校 美術室
- 対象者：庄原市内各小・中学校のICT活用推進リーダー21名

目的

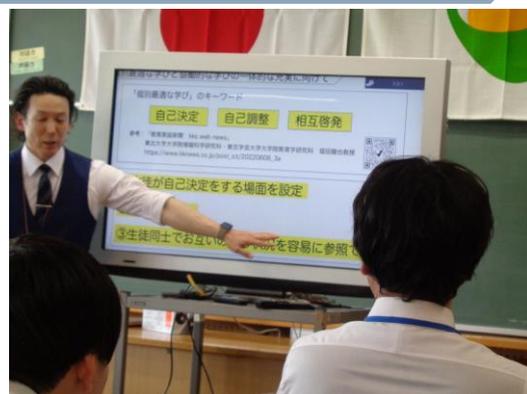
- ・教育の情報化における最新の情報について知るとともに、タブレット端末の効果的な活用に向けた具体的な活用方法について理解する。
- ・ICT活用推進リーダーとして、自校の活用推進に向けた具体的な取組のイメージをもつ。
- ・本市に導入しているソフトを実際に活用することを通して、各機能についての理解を図るとともに、活用場面や授業づくりのヒントとする。

講話・演習 「タブレット端末の効果的な活用及び日常的な活用について」

広島県教育委員会 義務教育指導課 指導主事 有田 貴信

【講話の概要】

- タブレット端末の活用促進に向けて、「教師は効果的に使う」「児童生徒は日常的に使う」ことを確認した。
- 先進校の取組の紹介を行った。生徒に対しては、現在の社会で使われているような方法で日常的にデジタル機器を適切に用いることで、子供たちが社会に出たときに必要な力を身につけさせていく必要がある。また、社会全体として、CBT（コンピュータを使った試験方式）が増えてきている。
- タブレット端末の活用して、「個別最適な学び」のキーワードである、「自己決定」「自己調整」「相互啓発」を進めてほしい。



講話・演習

「Sky Menu Cloudの活用について」

Sky株式会社 林 実沙季、山下 睦月、井上 裕一



【講話・演習の概要】

- 学習活動端末支援Webシステムである「Sky Menu Cloud」の授業における活用に方法について説明を行った。
- 個人から全体、全体から個人など、多様な協働学習を取り入れることができ、授業の中で効果的に取り入れることで、学びを深めることができる。

講話・演習

「eライブラリアドバンスの活用場面について」

ライズ株式会社 塚本 智士

【講話・演習の概要】

- 機能が増え、導入や小テスト、学習のまとめなど様々な場面で使うことができるようになった。
- 個に応じた学びのための工夫として取り入れることで、一人一人に応じた学びを進めることができる。



【参加者から】

- ・これからの社会で生きていく子供たちにとってICTは日常的に使うものであり、ICTを活用して仕事をするのが当たり前になっていくので、子供が日常的に授業でICTを利用できる手立てを考え、積極的に実践していきたいと思いました。
- ・本研修では、ツールの中に様々な機能があることがわかりました。授業以外でも積極的に使い、子供にとって、ICTが日常的に使えるものにしていきたいです。